

2025(令和7)年度 臨時号 桜丘だより



2025年10月31日 西脇市立桜丘小学校 〒679-0322 西脇市黒田庄町石原 1470
TEL 28-2203 FAX 28-2992 sakurasyo-vp@city.nishiwaki.ed.jp

全国学力・学習状況調査の結果を分析しました

学校長 中根 良介

4月に6年生を対象として国語・算数・理科の3科目における全国学力・学習状況調査が実施されました。各教科では、基礎的な知識を問う問題と、知識の活用力を測る問題が出題されました。また、子どもたちの学習状況および生活習慣に関する調査も併せて行われました。各個人の結果はすでに返却をしています。今回は、結果をもとに本校の全体的な傾向（おもに課題）について、分析・考察した内容をご報告します。今後も教育活動の充実に努めてまいりますので、ご支援をよろしくお願ひします。

【学力調査】

- ・各教科の基本的な技能の習得や用語の理解が十分とは言えず、設問の意図を正確に把握できていないのではないかと考えられる。
- ・問題文の中から必要な情報と不要な情報を適切に選別できず、立式したり回答したりしている。
- ・課題に対して粘り強く取り組むことが難しく、途中で解答をあきらめてしまう。
- ・自分の考えを、条件をふまえて文章にまとめることに課題がある。また推敲が不十分である。

<今後の取り組み>

おもに算数科において、「ふきだし法」を用いた授業改善に努めます。

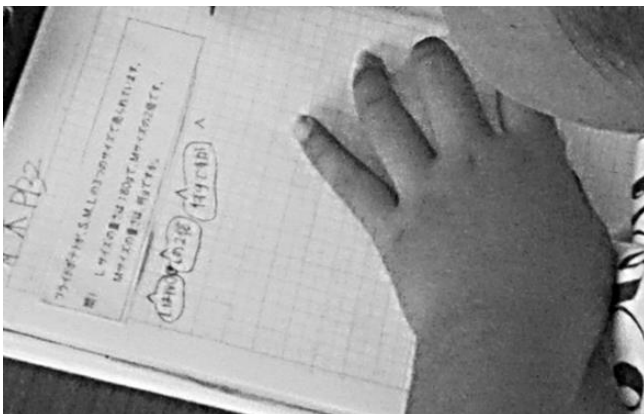
「ふきだし法」を用いた授業とは大きく次のような流れで行います。

- ① 問題文をしっかりと読み、必要な情報をノートにふきだしを用いて書き出す。
- ② ふきだしをもとに本時の課題を明確にし、問題解決の見通しをもつ。
- ③ 全体で共有した後、児童一人一人が自力解決する。
- ④ 個人で解決したことを全体で共有し、類題を解いたり本時のまとめをしたりする。

☆「ふきだし法」を用いた授業を展開することでつきたい力

- ・解決に必要な数量や問われていることを選別して抜き出す力
- ・図や表にしてみることで思考の過程を可視化する力
- ・思考の過程を明確にして、どのような演算を用いるか自分で見通しを立てて決定する力

※ これらは、キーワードを選んで要約したり、キーワードをもとに文章を組み立てたりすることで、算数科だけではなく、その他の教科にも生きてくる力だと考えています。



【児童質問紙】 一部抜粋

(当てはまる・どちらかと言えば当てはまる)の割合(%)

質 問 事 項	本校	全国
自分にはよいところがあると思いますか。	93.4	86.9
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。	100	92.2
人が困っているときは進んで助けますか。	100	93.7
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	100	97.2
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	100	96.4
朝食を毎日食べていますか。	66.7	93.7
読書は好きですか	26.7	69.7

本校の児童は、思いやりや正義感をもち、友だちや先生との関係も良好に築けている様子です。自分の良さを理解し、前向きな姿勢が見られます。一方で、朝食の欠食や読書への関心が低い傾向も見られますので、生活習慣や興味の幅を広げる支援が今後の課題です。学校では読書習慣の定着を図るための取り組みを進めていきたいと考えています。ご家庭でも、日々の生活の中で規則正しい生活習慣や家庭での学習習慣の定着にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

<読書習慣の定着を図るために>

(1) 興味に合った本を選ぶ

子どもが好きなテーマ(恐竜、冒険、動物、スポーツなど)に関連する本を用意すると、自然と手に取るようになります。

(2) 読み聞かせの時間をつくる

親子で一緒に本を読む時間をもつことで、読書が楽しい体験になります。低学年だけでなく、高学年でも効果があります。

(3) 本を身近に置く

リビングや寝室など、日常生活の中で本に触れられる環境を整えると、自然と本を読む習慣がつかえます。

<家庭学習の定着を図るために>

(1) 家庭学習の時間を確保する環境づくり

テレビやスマートフォンなどの誘惑を避け、集中できる学習環境の整備をお願いいたします。

(2) 学習内容への関心と声かけ

「今日は何を勉強したの?」など、日々の学習に関心を持ち、励ましの言葉をかけていただくと、子どもたちの意欲向上につながります。

(3) 学習習慣の定着に向けた見守り

毎日一定の時間に学習する習慣が身につくよう、継続的な見守りをお願いいたします。